

日本国際社会事業団の事務所には、海を渡った子どもたちの写真が、パネルにして飾ってある＝東京都目黒区



# その手を握りしめて

## 第2部 親子になるために①

「ちよつと年齢が高いので  
すが...」  
東京都目黒区の日本国際社  
会事業団、職員が受けた電話  
は、なじみのある西日本の日  
酒体の児童相談所からだっ  
た。

養護施設で暮らす人兄弟  
を養いし迎えられる家庭がど  
うしても見つからなかった。  
う。年長が10歳、兄弟二種の  
条件がハンデとなり、結婚  
の可能性は限りなく低い。環  
球を大きく変えてでも家庭を  
知ってほしい。職員が頼った  
のは、国際養子縁組を取り持  
つ同事業団だった。

# 国際養子縁組という選択 海を渡る日本の子ども

「日本は日本で生活できる  
のが理想です。でも現家  
はそうではありません。日本  
は社会で子どもを育てるとい  
う視点から見て、いかにして  
いでしょうか」  
国際養子縁組を語る大森さ  
んの言葉はいつのまにか私た  
ちの社会に向けられていた。

「本は日本で生活できる  
のが理想です。でも現家  
はそうではありません。日本  
は社会で子どもを育てるとい  
う視点から見て、いかにして  
いでしょうか」

「本は日本で生活できる  
のが理想です。でも現家  
はそうではありません。日本  
は社会で子どもを育てるとい  
う視点から見て、いかにして  
いでしょうか」

「本は日本で生活できる  
のが理想です。でも現家  
はそうではありません。日本  
は社会で子どもを育てるとい  
う視点から見て、いかにして  
いでしょうか」

「本は日本で生活できる  
のが理想です。でも現家  
はそうではありません。日本  
は社会で子どもを育てるとい  
う視点から見て、いかにして  
いでしょうか」

「本は日本で生活できる  
のが理想です。でも現家  
はそうではありません。日本  
は社会で子どもを育てるとい  
う視点から見て、いかにして  
いでしょうか」



ごを感へ  
速感へ  
見や  
っ  
つ  
て  
い  
ま  
す  
。 (住所不要) 神  
文化生衛部 無  
りしめて 無  
又078-360-5512メ  
seikatu@kobe-np.co.jp

「本は日本で生活できる  
のが理想です。でも現家  
はそうではありません。日本  
は社会で子どもを育てるとい  
う視点から見て、いかにして  
いでしょうか」